



寺ネット・サンガ通信 第20号

寺ネット・サンガ事務局 〒146-0082 東京都大田区池上1-19-10 永寿院内

Fax 03-3751-0533・メール info@teranetsamgha.com

誰でもブッダになれます！？

寺ネット・サンガ 事務局 藤尾総允

コロナ禍で終わりの見えない不安の中で過ごしている私たちの姿を、もしお釈迦様をご覧になったら一体何とお声をかけるでしょうか。

「頑張れ」と言って背中をポンと押すでしょうか。

いいえ、私はそうではないと思います。

お釈迦様は決して励ますことはせず、きっと皆さんの心に寄り添い

「どうか頑張り過ぎないように、無理をしないで。

ご飯もちゃんと食べて、夜もゆっくり休んでくださいね」

「今、そこにちゃんと生きている、ただそれだけで十分です」とおっしゃるでしょう。



皆さんはブッダという言葉の意味をご存じでしょうか。ブッダは神様ではありません。神の子でもなく神の使徒でもありません。私たちと同じように風邪を引いたり、喜んだり悲しんだりする人間です。ブッダとは、常に穏やかな態度と眼差しで思いやりに満ち温かい心を持った人をいいます。仏教はブッダになる教え。その教えを開いたお釈迦様は初代のブッダといえます。仏教的に言えばマザーテレサもナイチンゲールもブッダです。人は誰でもブッダになれます。

とはいえ、私たちは24時間ブッダで居続けることはできません。病気になることもあれば心が折れて何もできない時もあります。私たちはフルタイムではなく、パートタイムブッダを心がけましょう。家族や友達の前など大事な時間にブッダでいられたらいい。疲れた時やお休みの日は朝からずっとパジャマでいてビールを飲みながらテレビを見て過ごしてもいい、ブッダでない時間の過ごし方も大切です。

私たちにもいつか旅立つ時が訪れます。愛する人に再会した時「見守ってくれていてありがとう」「どう、見てた、あたしコロナを無事乗り切ったでしょう」と胸を張って話せるように、今この時、一日一日を大切に過ごしてまいりましょう。

これからもサンガでは皆さんが少しでも長くブッダでいられるようなお手伝いができるイベントを続けてまいりたいと思います。

オンライン行事



令和2年10月25日(日) オンライン総会

会員のみ呼びかけ10名ほどが参加。
各自パソコンの前で一杯やりながら、近況報告をしました。
遠方からの参加もあり、画面越しに見る久々の顔に話も弾みました。



令和3年2月22日(月) オンライン坊コン

いつもの坊コンの流れをオンラインで再現しました。皆さんからの仏教にまつわる情報交換、グループに分かれて懇談に花を咲かせました。



令和3年5月21日(金) オンライン心のマッサージ「坐禅、動禅&懇親会」

臨済宗 藤尾総允さんによる 坐禅と動禅でリラックス。
その後、現状での話したい事、お坊さんに聞いてほしいことなどを、飲み食べしながらグループ分けして懇親会を行ないました。



令和3年7月1日(木) オンライン心のマッサージ「お坊さんとゆっくり話そう」

飲食しながらで、お坊さんや事務局が進行により、5人程度のグループに分かれて楽しく懇談。



令和3年10月3日(日) オンライン坊コン

いつもの坊コンの流れをオンラインで再現しました。
松本智量さんから通夜・葬儀についてのプチ法話のなかで、通夜・葬儀は「やればわかる」という強いメッセージを受けて、参加者の思いを語り合う濃い時間となりました。

コラボ企画

会員寺院で開催されたイベントに、サンガ会員の参加を呼びかけるコラボ企画を実施しました。

令和2年11月29日(日)



もっといい法話の辻

名取芳彦住職の密蔵院のイベントに参加。
仏教は心穏やかでいるためのコンテンツ。悪口を言われても傷つかないコツは、自分が人からどう思われているかを予想しておくこと、人から責められたときに返す言葉を用意する練習など、参加型の法話会でした。
緊急事態の狭間の楽しいひと時でした。

令和3年3月27日(土)



『お寺と100年後の未来—お寺で考える遠くの森と近くの山』

アーユス仏教国際協力ネットワーク主催、寺ネット・サンガ共催のオンライン・セミナーに吉田代表が登壇。世界各地の森林減少や多摩地区の林業の現状、多摩産材の杉塔婆の普及活動などについて語り合いました。お寺は数百年に割って存続し、仏教を伝える場所です。欲望に流されず、遠い国の人々や身近な自然環境ともつながっていることを意識し、今私たちにできることを探していこうと結ばれました。

㊦ コロナ禍が収束するまで、オンラインを中心に活動を続け、皆さんとの縁を繋いで参ります。